

第8回 金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会 開催記録【概要版】

- ◆「第8回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会」を8月25日（土）に開催しました。
- ◆県内外から68名の方々にご出席いただき、基調講演や金沢での取組事例の報告をはじめとして、パネルディスカッションでの意見交換を行いました。

- ・開催日：平成30年8月25日（土）13:30～16:30（受付開始：13:00）
- ・会場：近江町いちば館（近江町交流プラザ4階）
- ・主催：金沢自転車ネットワーク協議会
- ・参加者数：68名（事前申込66名、当日申込2名）
- ・プログラム：

1) 開会	13:30
2) 開会挨拶 ・金沢大学 理工研究域環境デザイン学系 教授 高山 純一 （金沢自転車ネットワーク協議会会長） ・金沢市長 山野 之義	13:30～13:40
3) 【第一部】基調講演・金沢での取組報告 (1) 基調講演：「金沢市内の自転車走行指導帯の整備効果、そしてこれからの自転車利用環境」 講師：徳島大学 教授 山中 英生 (2) 金沢での取組報告 ・「金沢市における自転車関連事故分析」 発表者：国土交通省 金沢河川国道事務所 調査第二課 技官 中 友太郎 ・「金沢井波線における自転車走行指導帯整備」 発表者：石川県 土木部 道路整備課 専門員 佐野 司行 ・「金沢市自転車条例の概要と取組」 発表者：金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課 主査 西 啓介	13:40～14:50
4) 休憩	14:50～15:00
5) 【第二部】パネルディスカッション <テーマ> 「金沢の自転車施策のこれまでの経験に学ぶ」 ・コーディネーター：北陸大学 名誉教授 三国 千秋 （金沢自転車ネットワーク協議会委員） ・コメンテーター：金沢大学 教授 高山 純一 徳島大学 教授 山中 英生 ・パネリスト：国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川情報管理官 石川 俊之 石川県 中能登土木総合事務所 のと里山海道課 課長 山 道明 金沢市 土木局 道路建設課 街路係長 中山 哲也 石川県警察本部 交通企画課 課長補佐 平野 洋一	15:00～16:20
6) 国土交通省金沢河川国道事務所 事務所長 山田 哲也	16:20～16:30

▼【第一部】基調講演（徳島大学大学院 山中教授）



- ◇「金沢市内の自転車走行指導帯の整備効果、そしてこれからの自転車利用環境」と題して、金沢市内の自転車走行指導帯における自転車事故分析やランジッション・マネジメントの考え方について基調講演をいただきました。
- ◇特に、金沢で継続的に取り組まれている研究については、自転車走行指導帯は車道左側通行のルール遵守率を高めるだけでなく、その周辺の未整備区間のルール遵守率向上にも効果的であることなどを定量的にお話いただきました。

▼【第一部】金沢の取組①（金沢河川国道事務所 調査第二課 中技官）



- ◇「金沢市における自転車関連事故分析」と題して、これまでの金沢自転車ネットワーク協議会の取組と金沢市内における過去 10 年の自転車事故分析結果についてご報告いただきました。
- ◇金沢市の自転車事故は、特に中高生で大きく減少しており、また、自転車通行空間が整備されている路線だけでなく、未整備の路線においても、事故が減少している傾向についてご発表いただきました。

▼【第一部】金沢の取組②（石川県 土木部 道路整備課 佐野専門員）



- ◇「金沢井波線における自転車走行指導帯整備」と題して、主要地方道金沢井波線で今年度整備が行われた自転車走行指導帯の整備内容と効果についてご報告いただきました。
- ◇整備効果として、自転車の車道左側走行の遵守率が大きく増加している一方、自転車の渋滞や自転車同士の追越しといった新たな課題への対処の必要性をご発表いただきました。

▼【第一部】金沢の取組③（金沢市 都市政策局 交通政策部 歩ける環境推進課 西主査）



- ◇「金沢市自転車条例の概要と取組」と題して、平成 30 年 4 月に改正された「金沢市における自転車の安全な利用の促進に関する条例」についてご報告いただきました。
- ◇条例の見直しにより、自転車損害賠償保険の加入義務化や高齢者の自転車用ヘルメット着用義務化などについてご発表いただきました。

▼【第二部】パネルディスカッション①（国土交通省 北陸地方整備局 河川部 石川 河川情報管理官）



- ◇「旧国道 159 号浅野川大橋～山の上～東山区間における全国初のバスレーンを活用した自転車走行指導帯整備に向けた取組み」についてご報告いただきました。
- ◇市民や関係者の意見を把握し、解決するためにすばやく協議会を設立し、自転車走行指導帯の設計や利用促進に向けた細やかな工夫についてご発表いただきました。また、実現に向けた苦労や心構えについてもお話しいただきました。

▼【第二部】パネルディスカッション②（戸田建設(株) 関東支店 山本土木技術部長）



- ◇バスレーンを活用した自転車走行指導帯整備のきっかけとなった、「自転車・歩行者安全マップ」の制作についてご報告いただきました。
- ◇児童が感じる通学路の危険箇所について、マップに記入してもらい、PTA 等による調査結果の集計を経てマップが完成した経緯や、住民参加の重要性についてお話しいただきました。

高山先生（コメンテーター）：



- ◇旧国道 159 号における整備の成功は、石川氏の行動力や発想力が発揮された点が大いにあると思います。また、金沢市に警察の職員が出向しており、道路管理者と警察にパイプがあったことや、専門知識と熱意をもつ三国ご夫妻の存在も大きいと思います。
- ◇金沢のように道路環境が非常に貧弱な土地だからこそ、自転車道や自転車専用通行帯などに縛られない、車道混在型の「自転車走行指導帯」という柔軟な整備につながったと感じています。

▼【第二部】パネルディスカッション③（石川県 中能登土木総合事務所 のと里山海道課 山課長）



- ◇「県道東金沢停車場線自転車レーン整備の取組み」についてご報告いただきました。
- ◇東金沢駅前の自転車通行空間整備は、県内初となった道路空間の再配分による自転車専用通行帯の整備であり、ガイドラインもなく、他都市にも好事例がまだない中、手探りで進めたことなどの苦労や工夫をご発表いただきました。また、道路管理者と警察との連携の重要性についてもお話しいただきました。

▼【第二部】パネルディスカッション④（石川県警察本部 交通企画課 平野課長補佐）



- ◇有松久安地区における自転車専用通行帯整備等について、学識者・市民団体・道路管理者と警察が連携を継続・強化していくことの重要性をご報告いただきました。
- ◇関係者との連携のもと、既存インフラを活用しながら交通環境を良くするかという共通目標を共有したことが、警察庁長官賞の受賞にもつながった、とお話いただきました。



- 三国先生（コーディネーター）：
- ◇平野さんは淡々と話されているが、これはスゴイことであり、まずこのパネルディスカッションに登壇いただいていること自体が素晴らしいと思います。
 - ◇警察の方々のご協力もあり、道路管理者、住民などの関係者が連携した取組が円滑に進んでいると感じています。

▼【第二部】パネルディスカッション⑤（金沢市 土木局 道路建設課 中山街路係長）



- ◇「地域住民と協働で行う歩行者・自転車・クルマの交通安全対策」について、中央小学校周辺の自転車走行指導帯の整備に向け、沿道住民と行政が協働で検討した事例をご報告いただきました。
- ◇整備段階で沿道住民と高校生などが対話により問題意識を共有し、後の街頭指導等のフォローアップでは挨拶を交わせる関係になっていたことを紹介いただき、多くの市民に自転車通行空間整備の重要性を認識いただけるきっかけになったとのこと。



- 山中先生（コメンテーター）：
- ◇金沢では、課題が多い路線から整備し、成功したことで、住民が改善を実感でき、左側通行が浸透しているのだと思います。併せて、LQC（「LIGHTER（容易）」「QUICKER（速い）」「CHEAPER（安い）」）に基づいた対策が自然にできていることも良いと思います。
 - ◇すでに自転車交通に対する道路利用者の認識のトランジションが起こりつつある金沢で「未来のあたり前」が実現することを期待しています。

※「第8回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会」の内容については、『まちなりブログ』にも掲載いただきました。<H30/8/26 まちなりブログ> <https://www.machi-nori.jp/machiblog/34179/>